

# TOTO

## 施工説明書 シングルレバー混合栓施工説明書 (アルカリイオン水生成器用)

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。



### 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください。)

お取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制内容」です。

### 注意

	湯・水を逆に配管しないでください。水を出そうとしても、湯が出て、やけどをするおそれがあります。
	給湯温度は最高85℃までお使いください。85℃以上で使用になると、器具の寿命が短くなり水栓の破損で水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	水栓本体内部を分解しないでください。水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



### 使用条件

#### 1. 使用水圧

(1) 瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力	最低必要水圧…(下表参照)
	最高水圧:………0.75MPa

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
TOTO ハイカスタム	16号	0.06
	20号	
	16号	
TOTO ハイトリコン	20号	0.05
	21号	
	24号	
TOTO ハイコラソド	16号	0.06
	20号	
	24号	
TOTO ハイアクテイ	約21号	0.05
	約27号	

<設定条件>

項目	比例制御タイプ
吐水(ハンドル)	全開
吐水温度	38℃
給湯配管長さ	5m
着火条件	●給湯機が着火する下限の圧力 ●水温が高い(25℃) 夏期を想定
出湯温度	60℃

\*能力手動タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さい方に切替えるご着火しやすくなります。

この商品は、アルカリイオン生成器アルカリリフィルユニットタイプ(TEK511B2型)とセットで使用することでアルカリイオン生成器兼水栓となります。

施工時は、本説明書と合わせてアルカリイオン水生成器の施工説明書も御覧ください。

## 2.2

- (2) 貯湯式温水器と組合せる場合  
 給水・給湯圧力 { 最低必要水圧…0.05MPa  
 最高圧力…0.75MPa }  
 (3) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

### 2. 給湯温度について

- 給湯に **蒸気を使用しない** でください。
- **給湯温度は85℃以下** でお使いください。
- 電気温水器で使用する時は、給湯温度を85℃以下に調節してください。  
 85℃以上でご使用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財に損害を与えるおそれがあります。

### 3. 配管について

- 湯・水を **逆配管しない** でください。  
 給水ホースには①ラベルを、給湯ホースには②ラベルを貼付けています。  
 なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため露短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

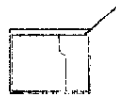
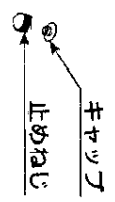
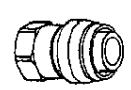



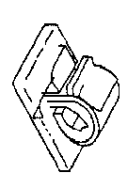
### 4. 止水栓について

- 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。

## 3

### 部品の確認

同梱部品

No.	数量	名	称
1	1冊	取扱説明書 (注意ラベルを同梱)	
2	各2個	止めねじ キヤップ	
3	2個	コンタツチソケット	
4	1個	ホースクランプ (ヌバウトタイプのみ)	
5	1個	水受トレイ (ハッドシヤワータイプのみ)	
6	1個	ストッパー (ハッドシヤワータイプのみ)	
7	小4個 大2個	クランプ (ハッドシヤワータイプのみ)	

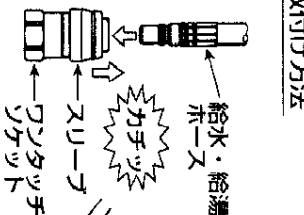
なお、本商品には、**水栓固定用の呼び径25の六角棒スリヤ**が同梱されています。

# 4

## 取付け前に

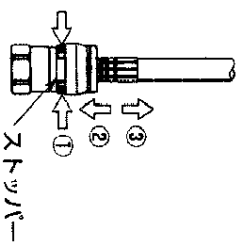
より簡単に施工していただくために、ワンタッチソケットを採用しています。  
ワンタッチソケット（一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし）  
混合栓の給水・給湯ホースとソケットの脱着がワンタッチで可能です。

### 取付け方法



給水・給湯ホースを力グリップと音がするまで確実に差し込み、スリーブが移動してグリップのストッパーが見えます。  
引っぱって外れないことを確認してください。

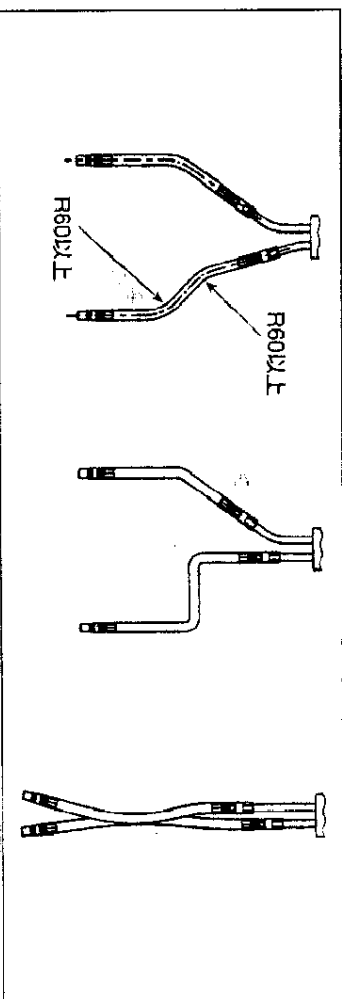
### 取外し方法



①グリップのストッパーを左右から押し込み  
②スリーブを下げ  
③給水・給湯ホースを引き抜いてください。

### 給水・給湯ホースの施工上の注意点

- (1) 給水・給湯ホースを逆に使用しないでください。
- (2) ホースの折れに、ご注意ください。  
ホースを最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあります。折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。  
施工時には、最小曲げ半径(60mm)よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
- (3) 金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。
- (4) ホース同士の不要な接触は避けてください。  
外部補鉛置の摩耗による外傷でホース性能の劣化の可能性がありますので避けてください。



止水径位置の確認（下記的位置が推奨位置です。施工前に確認してください。）

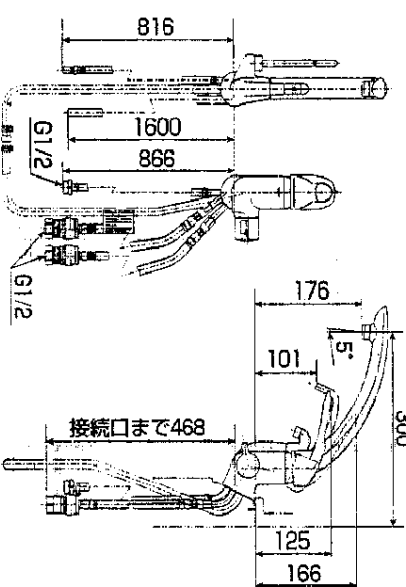
- (1) 高さ方向：床から480mm
- (2) 水平方向 給水：本体より右に270mm 給湯：本体より右に170mm

# 5

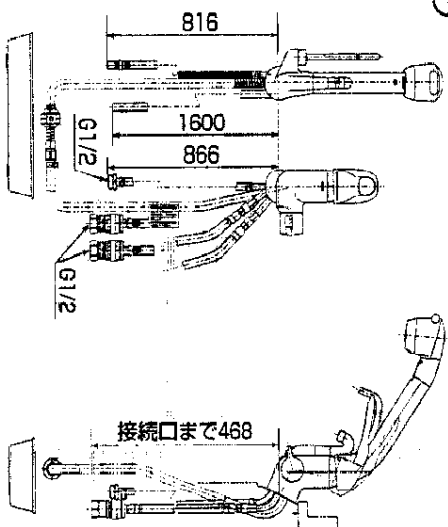
## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

スバウトタイプ  
(TK50-1型)



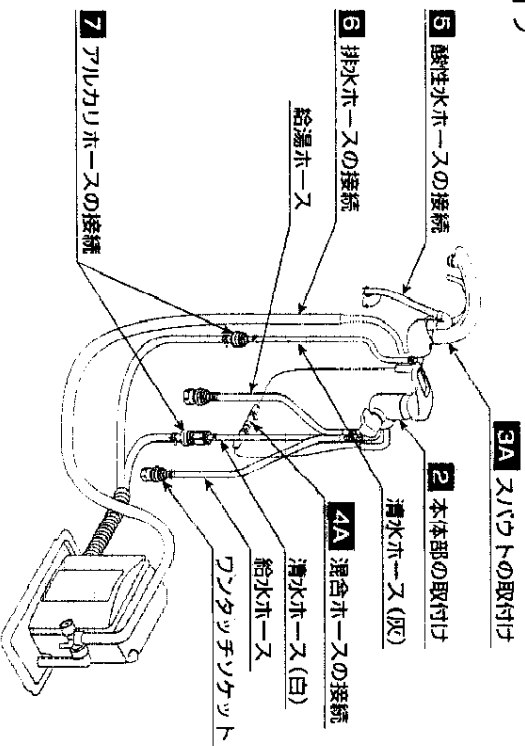
ハンドスプリータイプ  
(TK51-1型)



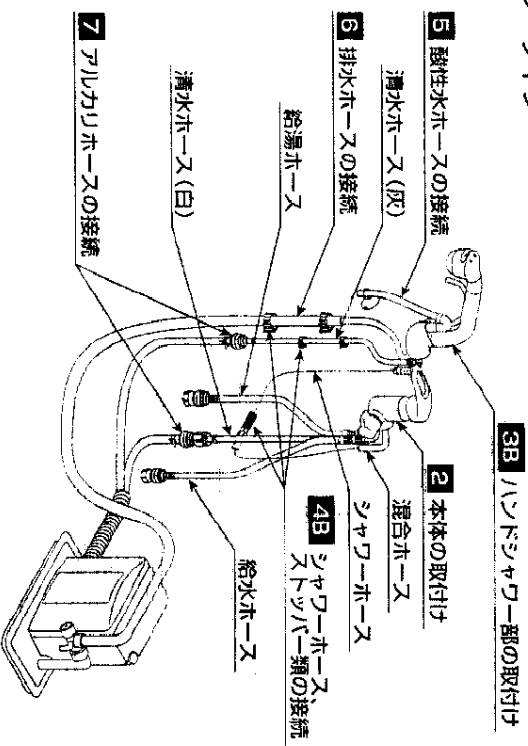
### 使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じる場合があります。レバーハンドルはありませぬ。万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

スバウトタイプ



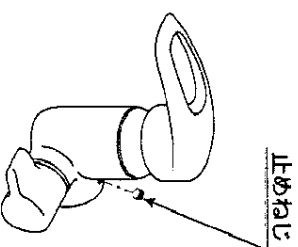
ハンドシャワータイプ



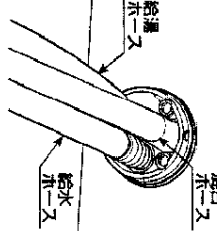
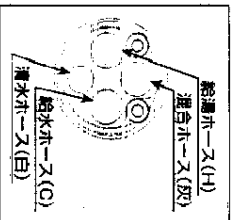
**1 給水管内の清掃**  
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

**2 本体の取付け**

2-1 止めねじを本体止側のねじ穴に仮ねじこみする。  
ねじは、内側に出ないようにする。

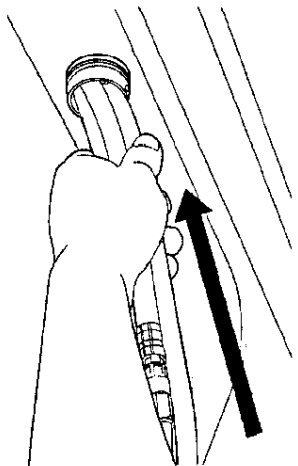


2-2 シンクの取付金具のOリングにゴム等がついていないことを確認する。  
ホースをそろえて(清水ホース、混合ホース、給水、給湯ホースの順にシンクに向かって右側の取付金具に挿入する。

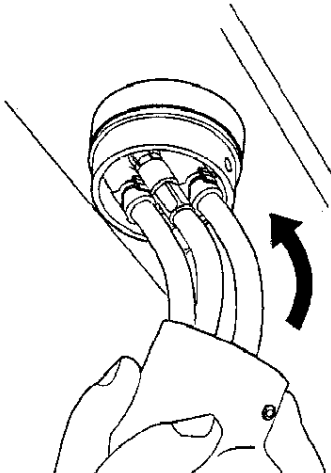


ホースは、交差しない様にしてそろえて挿入してください。

2-3 ホース先端がキャビネットに当たりますので、なるべくホース先端が下向きになるように手でホースを送りこみながら、挿入する。



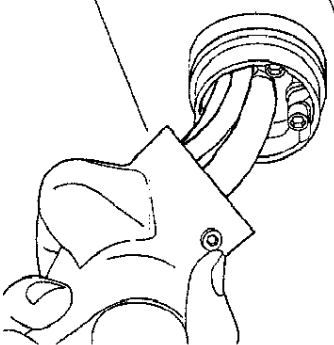
2-4 給水、給湯ホースが銅管につながるところまで挿入できたら、本体をささえながら銅管の曲がりに沿うように本体を押しこむ。



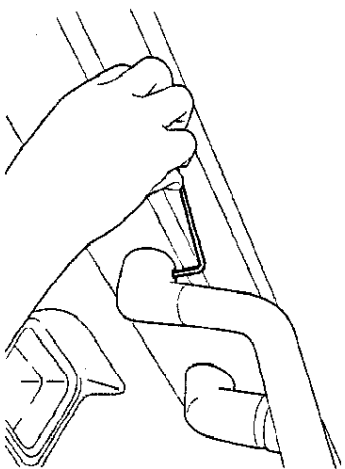
## スバウトタイプ

### 3A スバウトの取付け (スバウトタイプ)

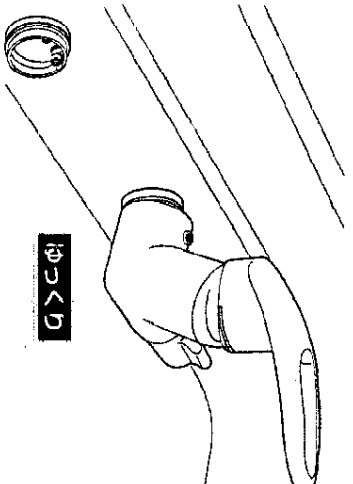
3A-1 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、排水ホース、清水ホース、混合ホースの順に左側の取付金具に挿入し、スバウト根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくりに押しこむ。



3A-2 スバウト部の向きを合わせて、スバウト部をシンクに押し当てたまま、本体と同様に六角棒スバウトで止めねじを締付けた後、キャップを押し込む。

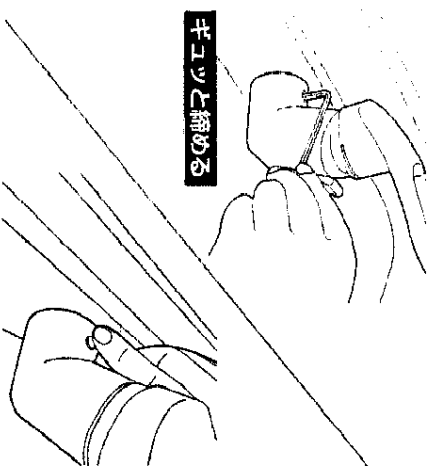


2-5 本体が取付金具まで挿入できたら、本体の根元がシンクに接するまで取付金具にゆっくりに押しこむ。



入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入りやすくなります。

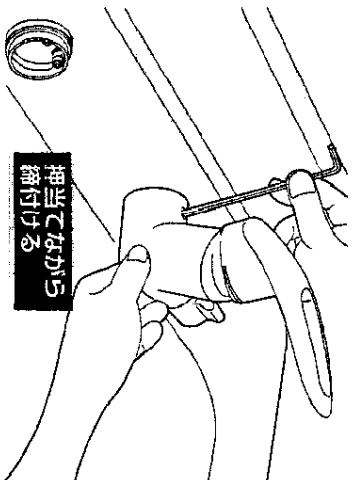
2-7 六角棒スバウトの短い方を使って増締めして確実に固定する。その後、止めネジのキャップを押し込む。



キャップと締める

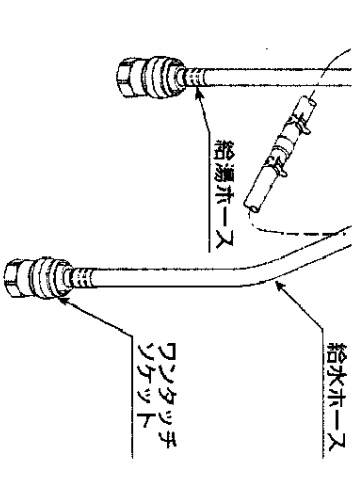
本体が確実に固定され、ガタ等がないことを確認ください。

2-6 本体の向きを合わせて本体をシンクに押し当てたまま、六角棒スバウトの長い方を使って止めネジを締付ける。



締付後、本体がまっすぐに取付けられていることを確認ください。

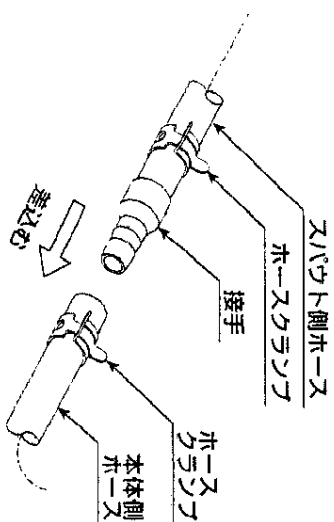
2-8 フォンタツクソケットを止水栓にねじ込んだ後、給水、給湯ホースをフォンタツクソケットにカチツと音が出るまで挿入する。(キャビネット内での作業)



この作業はスバウト(ハンドシャワー)取付後、実施ください。フォンタツクソケットのグリーンノットのストッパーが見え、漏れがないことを確認してください。

### 4A 混合ホースの接続 (キャビネット内での作業)

本体側混合ホースにホースクラソクを通した後、スバウト側混合ホースの接手先端を混合ホースに押し込み、**クラソクで固定**する。  
**ホースは接手の根元まで差し込み**てください。

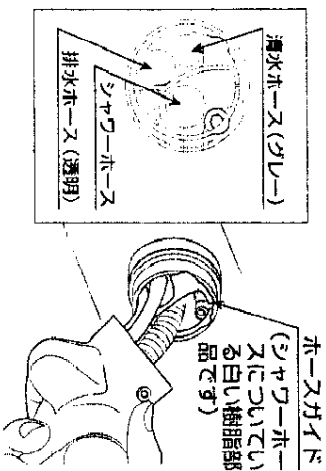


通水時、漏れがないことを確認してください。  
給湯、給水ホースと混合ホースがからまないように注意ください。

# ハンドシャワータイプ

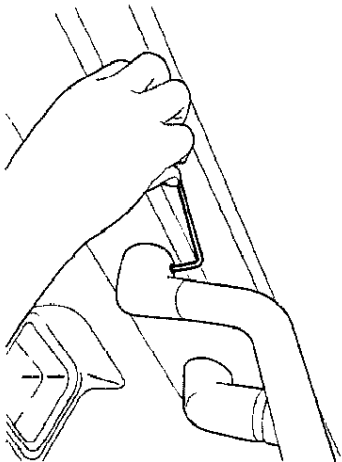
## 3B ハンドシャワー部の取付け

3B-1 本体と同様に止めねじを仮ねじこみ後、排水ホース、清水ホース、シャワーホースの順に左側の取付金具に挿入する。シャワーホースをほぼ挿入したところでホースガイドを取付金具の形状に合わせて差し込む。

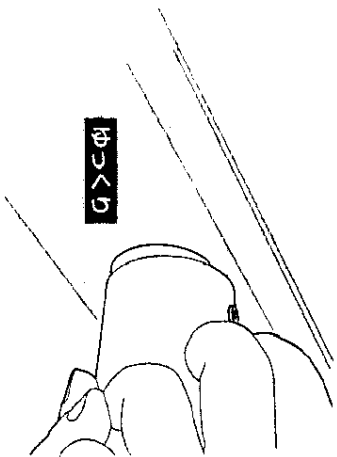


ホースガイドの凸部と取付金具の凹部を合わせるように取付けてください。

3B-3 ハンドシャワー部の向きを合わせてハンドシャワー部をシンクに押当てたまま、2-6 ~ 2-7 と同様に六角棒スバネで止めねじを締付けた後、キャップを押し込む。



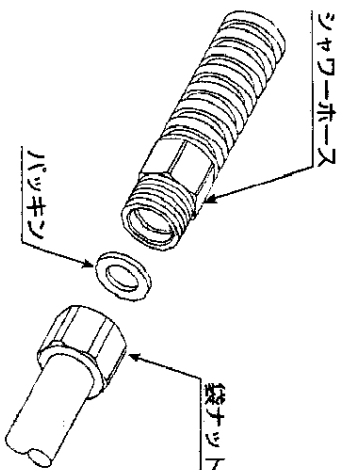
3B-2 ハンドシャワー部を根元部がシンクに接するまで取付金具にゆっくりに押し込む。



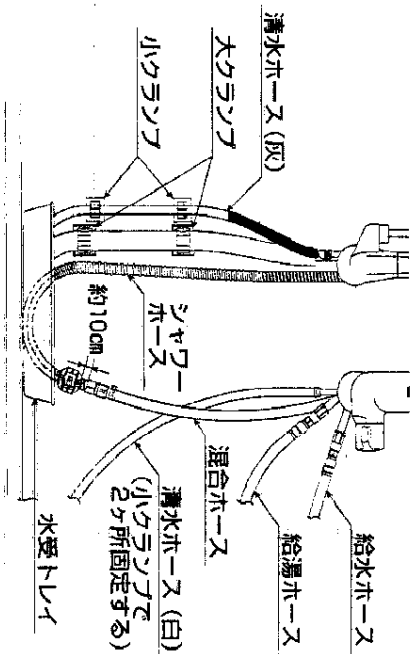
入りにくい場合は、取付金具のOリングに水等をつけると入りやすくなります。

## 4B シャワーホース、ストッパーの接続、水受けトレイの設置 (キャビネット内の作業)

4B-1 本体側の混合ホースの袋ナットにパッキンを入れ、シャワーホースを **器具で** 締込み接続する。



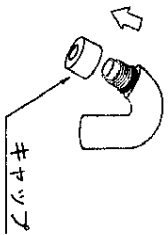
4B-2 図の位置にストッパーをつけ、水受けトレイをキャビネット内に設置する。



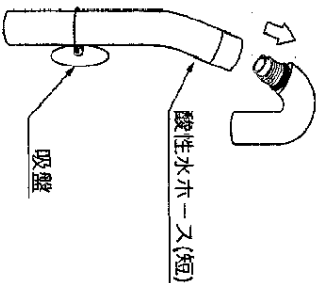
給湯、給水ホースとシャワーホースがからまないようにご注意ください。  
**アルカリホースの接続後、シャワーホースの出入れを確認し、清水ホース、排水ホースをシャワーホースのじやまにならないようクラソフで止めてください。**

## 5 排水（酸性水）ホースの接続

5-1 酸性水スバウト先端のキャップを手でゆるめて外す。



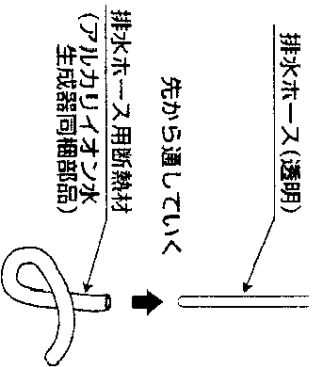
5-2 酸性水ホースを取付けて吸盤でシンク内に固定する。



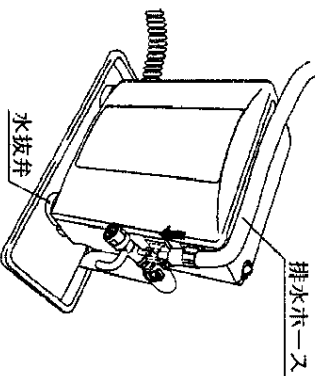
排水（酸性水）ホースは、アルカリリフ付属品です。  
排水（酸性水）ホースは、必ず取付けてください。  
**ホース接続後、取扱説明書に回折している注意ラベルを近くの見える所に必ず貼ってください。**

## 6 排水（酸性水）ホースの接続（キャビネット内）

6-1 スバウト側の排水ホース(透明)に、アルカリリフ付属品の断熱材を下から通してかぶせる。



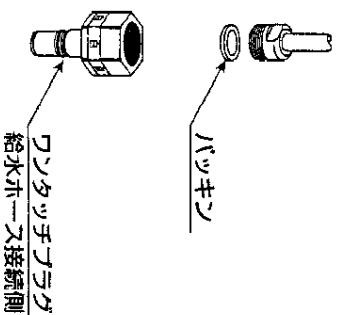
6-2 排水ホース(透明)をアルカリリフの水抜弁に根元まで差込んで接続する。クラップは、断熱材の上からとめる。



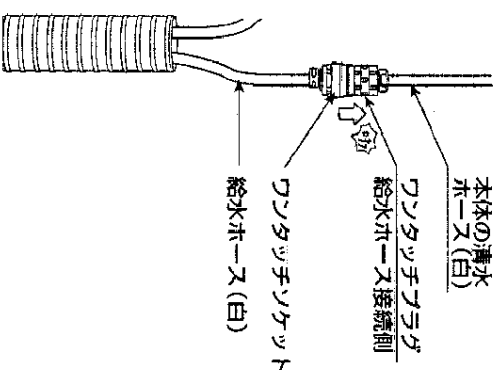
ホースが長い場合は、ハサミ等で切ってください。

## 7 アルカリリフホースの接続

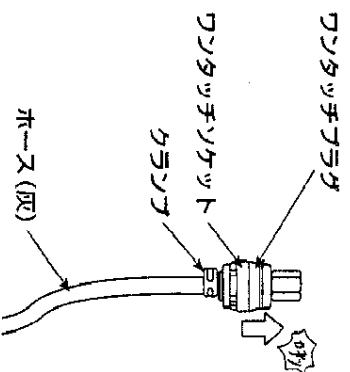
7-1 水栓本体側の清水ホース(白)の先端に、アルカリリフのワンタッチプラグ(給水用)を接続する。



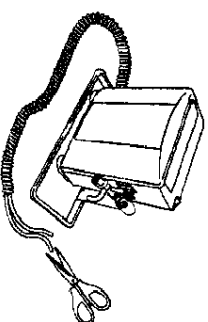
7-2 ワンタッチプラグを、アルカリリフの給水ホース(白)用ワンタッチソケットに、カチッと音がするまで挿入する。



7-3 水栓スバウト側の清水ホース(灰)の先端のワンタッチプラグを、アルカリリフの吐水ホース(灰)用ワンタッチソケットに、カチッと音が出るまで挿入する。



ホースがねじれたり、からんだりしないように注意ください。  
給湯ホースとホースが接触しない様、注意ください。

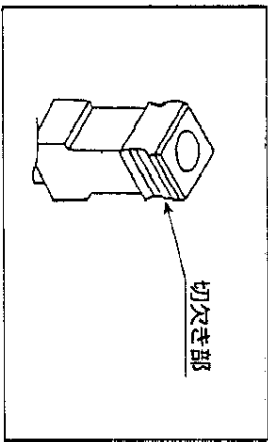
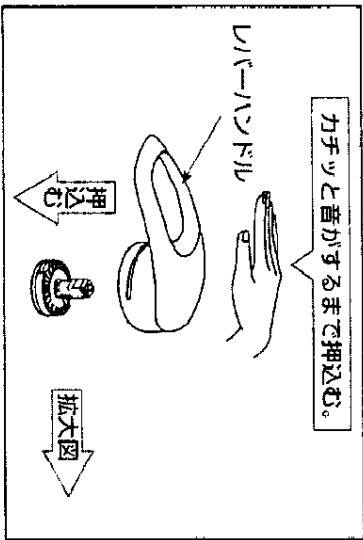


- ・ホースが長すぎる場合は、切って使用してください。
- ・切る場合はワンタッチソケット側のホースを外して切ってください。
- ・ホースカバを切る場合はホースから抜いた状態で行ってください。
- ・クラップは確実に取付けてください。

# 7

## リバーハンドルの取付要領

このリバーハンドルは、コンタッチで取付けることができます。



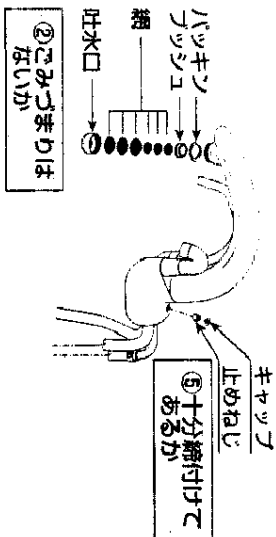
リバーハンドルとリバーの切欠きとの方向性に注意してください。  
正面から見てリバーの切欠きは、両サイドにあります。  
万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押し込んでください。  
最後に、リバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

# 8

## 分解と点検

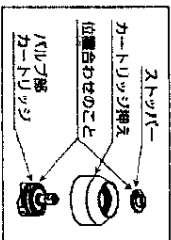
取付後、および万が一故障した場合は、次の要領で点検を行ってください。

### スバウトタイプ



現象	点検項目
吐水量が少ない	①②
水が止まらない	③④⑤
吐水温度不良	①②
ハンドルがたつ	⑥⑦
ハンドルシャワーが入れにくい	⑧
キャブネット内に水がもれる	⑨

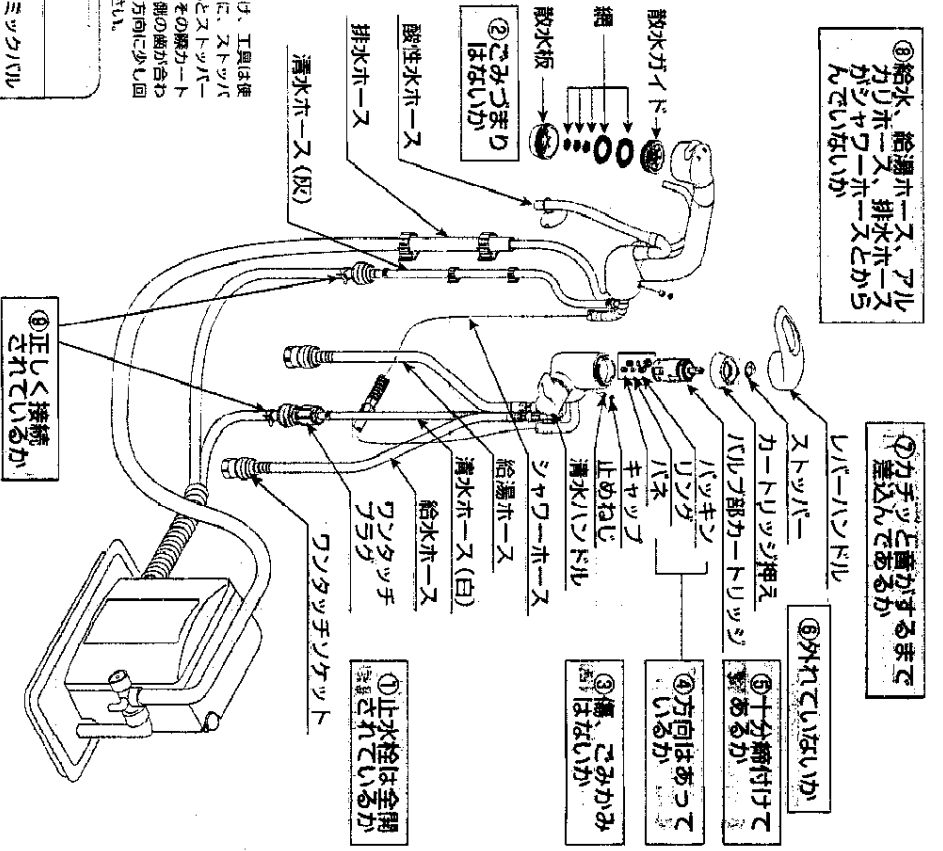
アルカリイオン水に関する点検項目は、アルカリイオン水生成器の説明書をご覧ください。



**点検時の注意**  
カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使わないでください。再セットされる際は、ストッパーを組み込む時は、カートリッジ開口部とストッパー側面を合わせて押し込んでください。その際カートリッジ押えの内側の歯とストッパーの外部の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にかし回して、歯を合わせるように調整してください。

**注意**  
バルブ部カートリッジ内部は、精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

### ハンドルシャワータイプ



ご注意 点検する際は、必ず止水栓を閉めてください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。  
手渡してできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下けておいてください。

再生紙を使用しています。